

文学企画展

阿波路の山頭火



吉野橋
ふたたびはわたらない橋の
ながいながい風

野宿いろく
波音おだやかな
夢のふるさと

しぐれてぬれて
まつかな柿もろた

「分け入つても分け入つても青い山」などの自由律俳句で知られる放浪の俳人・種田山頭火(1882~1940年)。彼は、生涯に二度、徳島を訪れています。1928年と亡くなる前年の39年です。
二度目の訪問時には、徳島市で道を探ねたときの不親切な対応を「四国遍路日記」に記す一方、海部郡では「よい宿がみつかつてうれしかった、おぢいさんは好々爺、おばあさんはしんせつでこまめで、好きな人柄」とつづつています。また、その翌日には、笠とメガネを風に吹き飛ばされ、通りがかりの小学生が拾ってくれたことに対して「ありがたうありがたう」と書いています。
彼の残した日記や俳句、遺品を通して、「阿波路の山頭火」を紹介します。



山頭火直筆「鉄鉢の中へも霞」(片山良樹氏当館寄託)

写真：小林銀汀(旧小林写真館本店)撮影 山頭火ふるさと館提供

2018年11月10日(土) ~ 2019年1月20日(日)

(期間中、一部展示替があります)

開館時間 9:30 ~ 17:00

休館日 月曜日
(ただし12月24日・1月14日は開館、翌日休館)
年末年始 (12月28日~1月4日)

会場 徳島県立文学書道館 3階文学常設展示室

観覧料 一般 300円(240円)
高校・大学生 200円(160円)
小・中学生 100円(80円)

* ()内は、20人以上の団体割引料金。
小・中・高校生は、土・日・祝日と冬休み期間中は無料。
高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。
「とくしま文化推進期間」「関西文化の日」(11月3日~18日)は無料。

言の葉ミュージアム
徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1 TEL 088-625-7485 / FAX 088-625-7540
E-mail kotonoha@bungakushodo.jp ホームページ <http://www.bungakushodo.jp>